



Red Hat build of OpenJDK 11

Eclipse Temurin 8.0.382 のリリースノート

法律上の通知

Copyright © 2024 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

Eclipse Temurin 8.0.382 のリリースノートには、OpenJDK 8 の新機能の概要と、潜在的な既知の問題と考えられる回避策の一覧が記載されています。

目次

はじめに	3
RED HAT BUILD OF OPENJDK ドキュメントへのフィードバック	4
多様性を受け入れるオープンソースの強化	5
第1章 ECLIPSE TEMURIN のサポートポリシー	6
第2章 ECLIPSE TEMURIN の機能	7
新機能および機能拡張	7

はじめに

Open Java Development Kit (OpenJDK) は、Java Platform Standard Edition (Java SE) のオープンソース実装です。Eclipse Temurin は、OpenJDK 8u、OpenJDK 11u、OpenJDK 17u、および OpenJDK 21u の 4 つの LTS バージョンで利用できます。

Eclipse Temurin のバイナリーファイルは、macOS、Microsoft Windows と、Red Hat Enterprise Linux や Ubuntu を含む複数の Linux x86 オペレーティングシステムで利用できます。

RED HAT BUILD OF OPENJDK ドキュメントへのフィードバック

エラーを報告したり、ドキュメントを改善したりするには、Red Hat Jira アカウントにログインし、課題を送信してください。Red Hat Jira アカウントをお持ちでない場合は、アカウントを作成するように求められます。

手順

1. 次のリンクをクリックして [チケットを作成します](#)。
2. **Summary** に課題の簡単な説明を入力します。
3. **Description** に課題や機能拡張の詳細な説明を入力します。問題があるドキュメントのセクションへの URL を含めてください。
4. **Submit** をクリックすると、課題が作成され、適切なドキュメントチームに転送されます。

多様性を受け入れるオープンソースの強化

Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、今後の複数のリリースで段階的に用語の置き換えを実施して参ります。詳細は、[Red Hat CTO である Chris Wright のメッセージ](#) をご覧ください。

第1章 ECLIPSE TEMURIN のサポートポリシー

Red Hat は、一部の Eclipse Temurin のメジャーバージョンをサポートします。一貫性を保つために、これらのバージョンは、Oracle が Oracle JDK 向けに長期サポート (LTS) を指定しているバージョンと同じになります。

Eclipse Temurin のメジャーバージョンは、バージョンの初回導入時点から最低 6 年間サポートされます。詳細は、[Eclipse Temurin Life Cycle and Support Policy](#) を参照してください。



注記

RHEL 6 のライフサイクルは 2020 年 11 月に終了します。このため、Eclipse Temurin はサポート対象の設定として RHEL 6 をサポートしません。

第2章 ECLIPSE TEMURIN の機能

Eclipse Temurin には、OpenJDK のアップストリームディストリビューションの構造の変更は含まれません。

Eclipse Temurin の最新の OpenJDK 11 リリースに含まれる変更点とセキュリティー修正の一覧は、[OpenJDK 11.0.20 Released](#) を参照してください。

新機能および機能拡張

次のリリースノートを確認して、Eclipse Temurin 8.0.382 リリースに含まれる新機能と機能拡張を理解してください。

新しい JFR イベント `jdk.SecurityProviderService`

`java.security.Provider.getService (String type, String Algorithm)` メソッドを呼び出すと、新しい JFR イベント `jdk.SecurityProviderService` がトリガーされるようになりました。

`jdk.SecurityProviderService` イベントには、次の3つのフィールドが含まれます。

- Type: サービスのタイプ
- Algorithm: アルゴリズム名
- Provider: セキュリティープロバイダー

`jdk.SecurityProviderService` イベントはデフォルトでは無効になっています。このイベントは、標準の JFR 設定ファイルとオプションを使用して有効にできます。

[JDK-8254711 \(JDK バグシステム\)](#) を参照してください。

`jdk.jar.maxSignatureFileSize` システムプロパティーのデフォルト値の増加

OpenJDK 17.0.8 では、Java アーカイブ (JAR) ファイルで署名関連のファイルに許可される最大バイト数を設定するための `jdk.jar.maxSignatureFileSize` システムプロパティーが導入されました (JDK-8300596)。デフォルトでは、`jdk.jar.maxSignatureFileSize` プロパティーは 8000000 バイト (8 MB) に設定され、Mend (以前の WhiteSource) Unified Agent JAR ファイルなどの一部の JAR ファイルでは小さすぎていました。

OpenJDK 17.0.8.1 の Red Hat ビルドでは、`jdk.jar.maxSignatureFileSize` プロパティーのデフォルト値が 16000000 バイト (16 MB) に増加します。

[JDK-8312489 \(JDK Bug System\)](#) を参照してください。

Telia Root CA v2 証明書の追加

OpenJDK 11.0.22 では、`cacerts` トラストストアに Telia ルート認証局 (CA) v2 証明書が含まれていません。

- Name: Telia Root CA v2
- エイリアス名 : teliarootcav2
- 識別名 : CN=Telia Root CA v2, O=Telia Finland Oyj, C=FI

[JDK-8312489 \(JDK Bug System\)](#) を参照してください。

Let's Encrypt ISRG Root X2 CA 証明書の追加

OpenJDK 11.0.22 では、`cacerts` トラストストアに、Let's Encrypt からの Internet Security Research Group (ISRG) Root X2 CA 証明書が含まれています。

- 名前 : Let's Encrypt
- エイリアス名 : letsencryptisrgx2
- 識別名 : CN=ISRG Root X2, O=Internet Security Research Group, C=US

[JDK-8312489 \(JDK Bug System\)](#) を参照してください。

DigiCert, Inc. ルート証明書が追加されました

OpenJDK 11.0.22 では、**cacerts** トラストストアに 4 つの DigiCert, Inc. ルート証明書が含まれています。

証明書 1

- 名前 : DigiCert, Inc.
- エイリアス名 : digicertcseccrootg5
- 識別名 : CN=DigiCert CS ECC P384 Root G5, O="DigiCert, Inc.", C=US

証明書 2

- 名前 : DigiCert, Inc.
- エイリアス名 : digicertcsrsarootg5
- 識別名 : CN=DigiCert CS RSA4096 Root G5, O="DigiCert, Inc.", C=US

証明書 3

- 名前 : DigiCert, Inc.
- エイリアス名 : digicerttlseccrootg5
- 識別名 : CN=DigiCert TLS ECC P384 Root G5, O="DigiCert, Inc.", C=US

証明書 4

- 名前 : DigiCert, Inc.
- エイリアス名 : digicerttlsrsarootg5
- 識別名 : CN=DigiCert TLS RSA4096 Root G5, O="DigiCert, Inc.", C=US

[JDK-8312489 \(JDK Bug System\)](#) を参照してください。

eMudhra Technologies Limited root certificates added

OpenJDK 11.0.22 では、**cacerts** トラストストアに 3 つの eMudhra Technologies Limited root certificates が含まれています。

証明書 1

- Name: eMudhra Technologies Limited
- エイリアス名 : emsignrootcag1
- 識別名 : CN=emSign Root CA - G1 O=eMudhra Technologies Limited, OU=emSign PKI, C=IN

証明書 2

- Name: eMudhra Technologies Limited
- エイリアス名 : emsigneccrootcag3
- 識別名 : CN=emSign ECC Root CA - G3, O=eMudhra Technologies Limited, OU=emSign PKI, C=IN

証明書 3

- Name: eMudhra Technologies Limited
- エイリアス名 : emsignrootcag2
- 識別名 : CN=emSign Root CA - G2, O=eMudhra Technologies Limited, OU=emSign PKI, C=IN

[JDK-8312489 \(JDK Bug System\)](#) を参照してください。

改訂日時: 2024-05-10